

『第150回』 令和七年十一月の作品

〈十一月十二日（金） 文京シビックセンター5D〉

丹頂の一聲に皆振り向けり
（一江）

一葉忌母の言葉を思ひだす
（平六）

穏やかやまた三年の日記買ふ
（貴美）

冬ざれや大きな池の乱反射
（前歩）

凧の止みて眩しき日の出かな
（孝昭）

晴天を貫ぐとく冬木立
（奉男）

安青錦

祖国のため綱取り誓ふ冬茜
くに

冬晴れや野菜畠と浅間山

（正佳）
（正雄）
（隆治）

待ち合はせ笑顔で外すマスクかな